

第四十一回 船通山宣揚祭

須佐之男命がオロチ退治をした時に、尾から出たと伝えられる「天叢雲剣」の出願を記念する船通山宣揚祭が、七月二十八日、船通山山頂で開催されました。

幻想的な雰囲気の中、神事が厳かに執り行われました。また、鳥上小学校児童による古事記ゆかりの一場面の素

宣揚祭は、船通山に接する奥出雲町と鳥取県日南町が毎年協力して行っています。

今年は、日本武尊を仰ぐ会の小串和夫会長（熱田神宮宮司）と全国の会員五十人を含む約三百人が参列し、盛大に営まれました。天空は厚い雲に覆われ、雷鳴がとどろく中、あたかも神々が舞い降りてくるかのごとく、



▲勇壮な剣の舞



▲横田中学校プラスバンド

多彩なイベント楽しむ 奥出雲だんだんフェスタ

真夏の夜を彩る、奥出雲だんだんフェスタが8月2日、出雲横田駅前ロータリーで開催され、町内外から多くの人が訪れました。

祭りは、横田小学校のマーチングバンドで開幕し、親子による三輪車レースなど趣向を凝らしたイベントやテント村、フリーマーケットの出店で賑わいました。

また、ドラマ主題歌で全国デビューを果たした、松江市在住のポップスバンド「グライダー」のさわやかな演奏が披露され、会場の雰囲気を一層盛り上げました。



▲横田小学校マーチングバンド



▲みんなでジェット風船



▲白熱の三輪車レース



▲グライダーの演奏



▲横田幼稚園銭太鼓ダンス



▲多くの人が訪れました

～週刊誌の写真で全国紹介～

首都圏でトップクラスの仁多米価格

今月3日発行の週刊誌「読売ウィークリー」の記事写真に、仁多米が掲載されました。首都圏にある全国のこだわり米を扱う有名米専門店で、仁多米がブランド米として、他の産地よりも極めて高い店頭価格で販売されています。

仁多米のブランド化は、米生産農家の所得向上を図るため、全国でも例のない町全額出資の奥出雲仁多米（株）を設立、カンントリーエレベーターを建設して「出雲國仁多米」として独自販売を行った施策の成果です。

堆肥を施用した「特色ある米づくり」と、籾貯蔵等による有利販売を推進した結果、全国トップクラスの価格でブランド米としての位置付けを確かなものにしました。

これは、仁多米生産農家への信頼と、堆肥センター等町ぐるみの良質米産地づくりが評価されたもので、これから一層この信頼と期待に応えるため、安心・安全な仁多米ブランドの確立に努めたいものです。

なお、掲載誌（読売ウィークリー）は、今月の広報発送にあわせて、各自治会に配布いたしますので、是非ご覧下さい。



▲全国のブランド米の中で、高値で販売されている仁多米

写真提供:読売新聞社

ふるさと応援寄附の第1号に若槻一夫さん(亀嵩出身)

5月の臨時議会で可決成立した「奥出雲町ふるさと応援寄附条例」に基づくふるさと応援寄附第1号として、亀嵩出身で現在、広島市在住の若槻一夫さんから30万円の申込みがありました。

若槻さんは、これまでも地元小学生をプロ野球観戦に招待したり、近年ではご当地ソング「忘れないで奥出雲」の制作など、町の活性化にご尽力いただいています。

なお、若槻さんからは、今回の寄附を観光振興への活用に希望されています。



▶ 激励式の様子

全国大会での活躍を期待
八月十三日、全国大会に出場する横田中男女ホッケー部、仁多中男子ホッケー部、陸上の朝津順平さん（高田小）の激励式が役場仁多庁舎で行われました。
ホッケー部は、富山県で開催される第三十八回全日本中学生ホッケー選手権大会に、朝津さんは、東京の国立競技場で開催される、第二十四回全国小学生陸上競技交流会に出場します。
ホッケー競技は、平成十七年に仁多中学校男子ホッケー部が初優勝、横田中男子ホッケー部が昨年、七年ぶりに優勝しており、今回も横田、仁多両校の活躍が期待されます。